

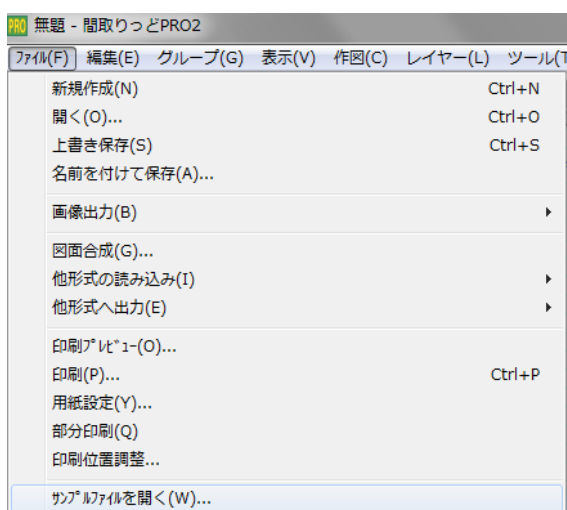
「間取りっどPRO2体験版」の使い方

「間取りっどPRO2体験版」は保存ができない、画像出力と印刷回数が10回まで（中央にロゴが入ります）という制限がございますが、他は全て製品版と同じ機能・部品があります。

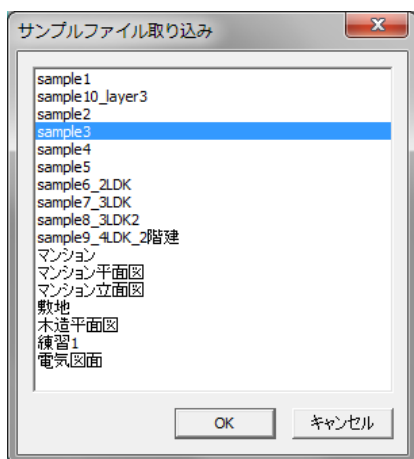
サンプルを印刷してみましょう

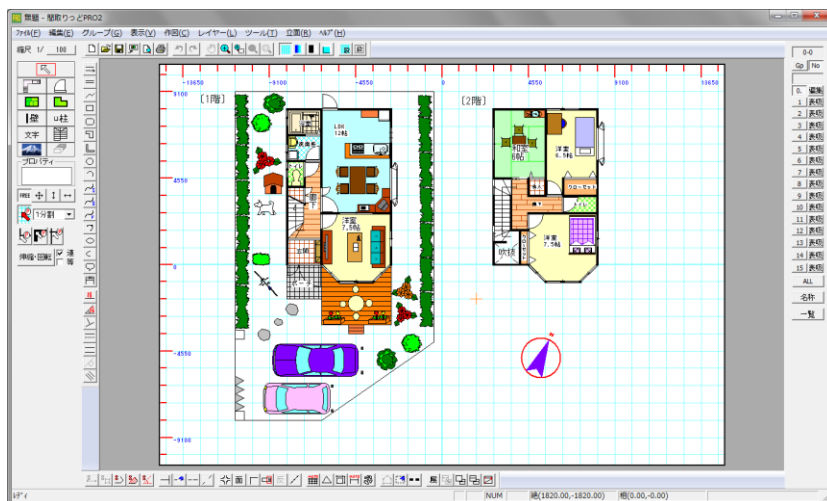
「間取りっどPRO2」にはいくつかのサンプルファイルがあります。その中で2階建てを作図したものがありますので、それを開いてプリンタで印刷してみてください。きれいに印刷できるのが確かめられます。

「ファイル」の「サンプルファイルを開く」を選びます。



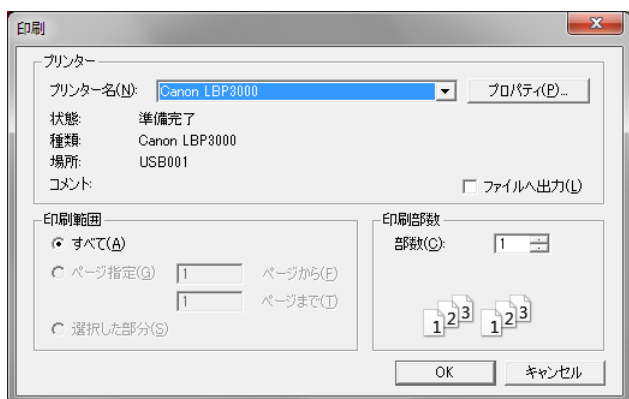
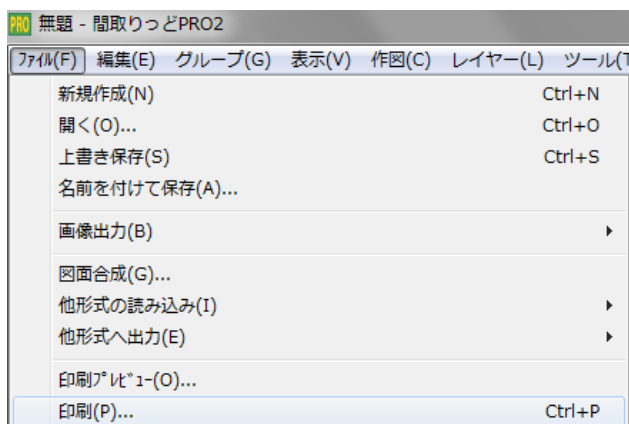
その中から「sample3」を選んで開きます。





「間取りっどPRO2」で書いた2階建て図面です。

これを印刷してみます。用紙サイズはA4になっています。「ファイル」「印刷」を選んでください。



プリンタ名にはお使いのプリンタが表示されます。プリンタの確認をして「OK」ボタンを押すと印刷できます。

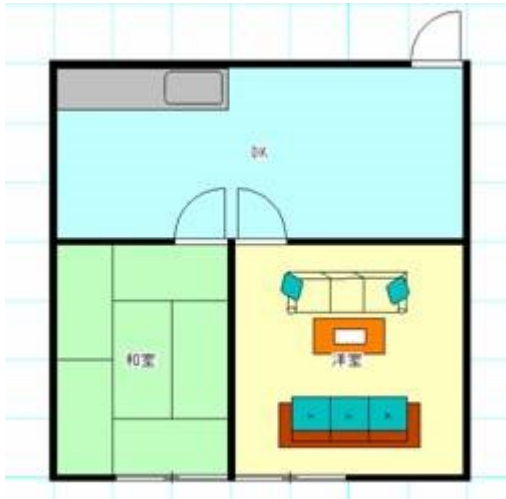
このサンプルはA4で1/100図面ですが、用紙サイズや間取りの大きさは自由に設定できます。

次は実際に簡単な間取り作成をしてみます。

間取りを作成してみましょう

実際に「間取りっどPRO 2 体験版」で、間取りを作成してみます。グリッド(方眼紙状の台紙イメージ)と縮尺を合わせますので、前の項の「sample3」を開いてなかったら「ファイル」「サンプルファイルを開く」で「sample3」を開いて、一度「間取りっどPRO 体験版」を終了してから再び起動してください。

下記のような簡単な図面を作ってみます。



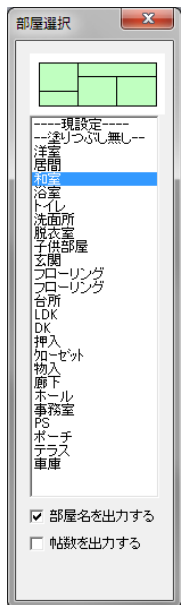
画面左側の「○の中にP」があるの4つのボタンが以下のようにになっているのを確認します。これは「吸着」といって方眼紙にマウスの先がくっついて図面を書きやすくする機能です。このうち今回は左側の2つを使用します。



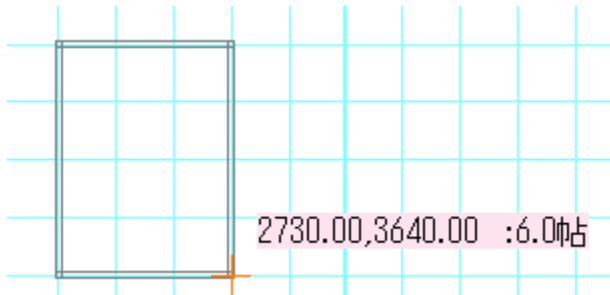
早速部屋を作成します。画面左側の「四角形部屋作成」という下記のボタンを押してください。



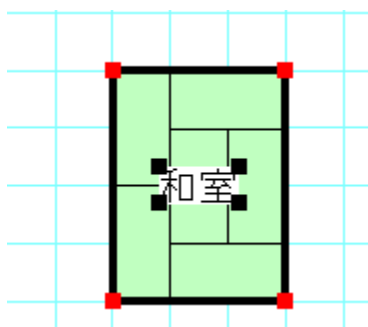
部屋の選択が出てきます。ここで「和室」をクリックします。



画面上の左上くらいの、どこでもいいので左クリックをします（ドラッグせず指はマウスから離します）。マウスを動かすと部屋の形状のようなものが出てきます。

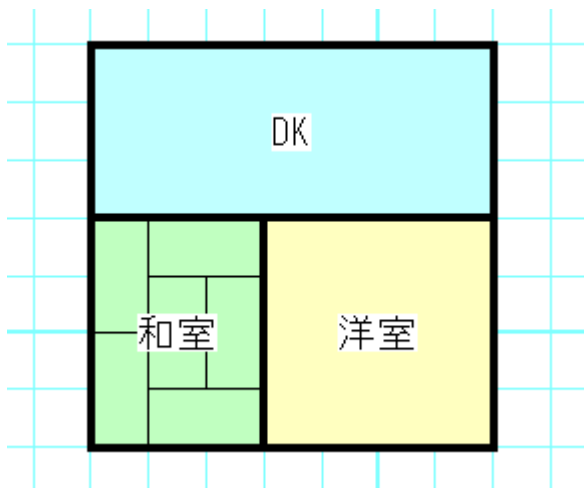



上図のように横3マス、縦4マスになったらそこで左クリックをすると確定です。下図のような和室が出来上がります。




和室の周りにある赤や黒の四角形は、「選択」されていることを示します。「選択」されているものは移動や削除などができるということです。

次に部屋選択から「洋室」をクリックして、縦横4マスで同じように部屋を作成します。クリックする場所を間違えたら右クリックをすれば前の状態に戻ります。DKを横7縦3マスで配置して、下記のようにになると部屋は完成です。



ここで見やすくするために画面を拡大します。画面上部ののボタンを押してください。マウスの形が虫メガネの中に+がある形になります。これで拡大します。部屋の真ん中あたりをクリックしてゆっくりドラッグ（マウスのボタンを押したまま動かす）と、徐々に拡大します。

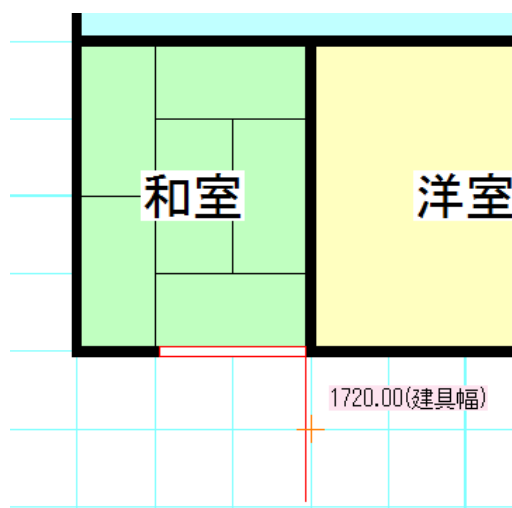
次に建具（ドアとか窓等）を配置していきます。画面左側の建具配置ボタンを押して、「引き違い」を押して、下図のように「引き違い2枚1」を選びます。



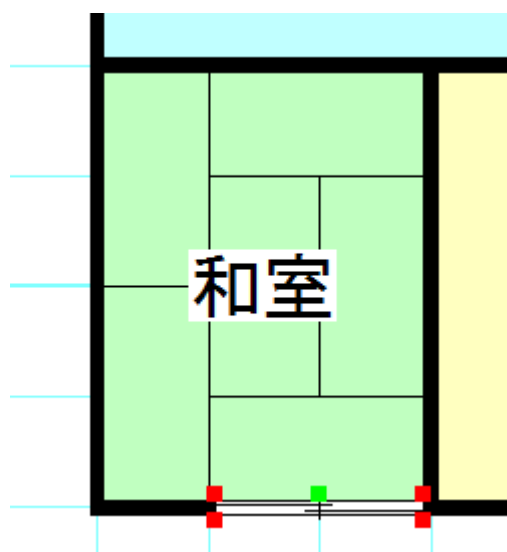
建具は1、2点クリックで、クリックした間の距離と建具の幅と方向を決めて、3点目で向きを決めます。配置した後から方向や向きは変えられます。

まず下記のように、和室の下側の縁（ふち）と壁が交わるところで左クリックし、次に和室と洋室の重なる部分の下

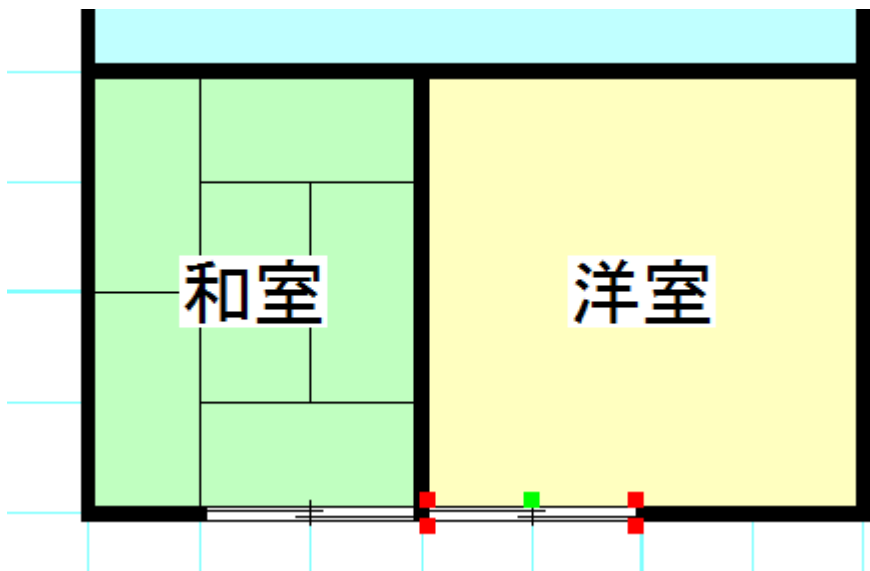
側をクリックすると、中が白い赤い四角形に線が縦に1本でたようなものになります。クリックする位置は下図を参考にしてください。



マウスを動かすと向きがきまります。下に出ている棒が右側に行くようにしてクリックすると、建具が配置されます。
(棒のある方に戸があるように配置されます)



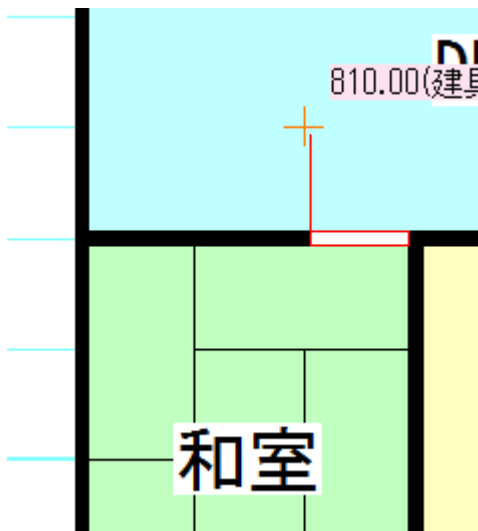
同じようにして洋室の下側も配置します。



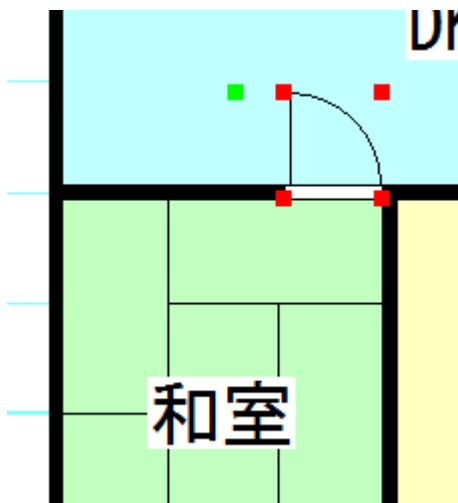
次に「開き戸」を配置します。開き戸はドアが開いたような絵になります。「建具の選択」のリストから「開き戸」を選んで「片開き1」を選びます。



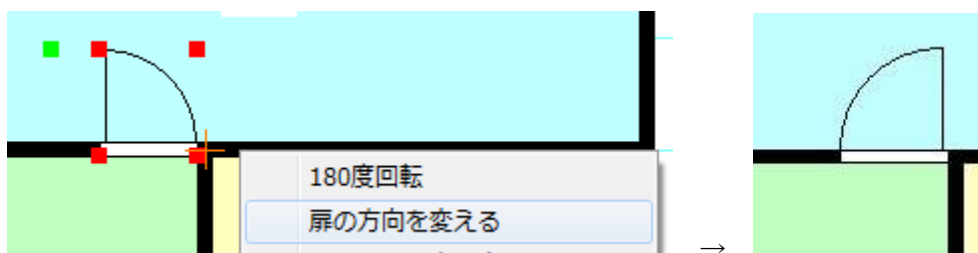
和室の上部右側を、引き違いのときと同じようにして、2点を左クリックします。今度は向きを決めます。下記の向きでクリックしてください。



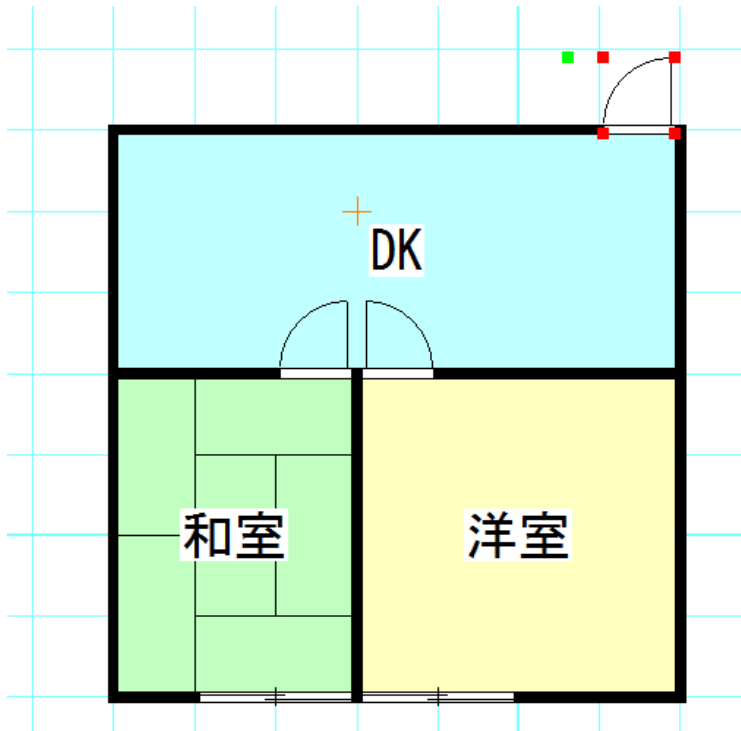
↓



建具の方向が違う場合、「選択されている状態」で右クリックすると、向きが変更されます。「扉の方向を変える」を選ぶと建具の向きが変わります。



同じようにしてあと2箇所配置すると完成です。



キッチンや家具などの部品を配置すると、よりいっそう間取りが引き立ちます。
部品配置の前に、また画面左側の「○の中にP」のボタンを以下のようにします。



(上の青いボタンと、下の左下側のボタンを押し浮き上がらせて、下の左側のボタンの矢印が赤くなっている状態)

部屋を書くときは、グリッド（方眼紙）の上にマウスが止まるようになり、ずれずに部屋を配置できました。部品（キッチンなど）を配置する際は、自由にマウスが動いて、壁の際にピッタリ配置できるようにします。

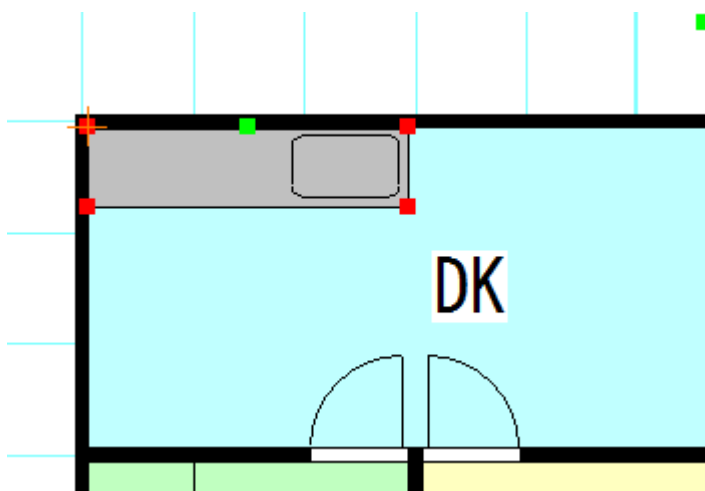
画面左側の「部品配置」をクリックします。



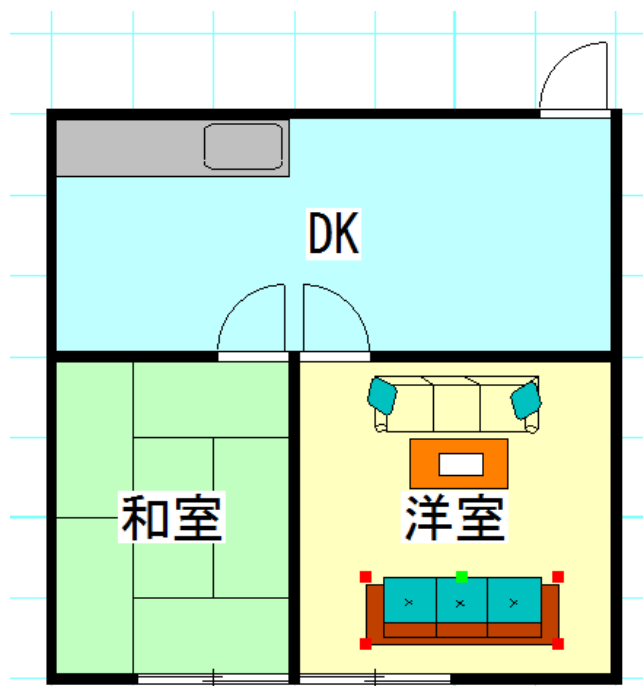
「部品の配置」画面が出てきます。左下のリストから「住宅設備」をクリック、その下の「キッチン」をクリックし、「I型コンロなし」をクリックします。







「配置」ボタンを押してマウスを画面に持ってくるとマウスにキッチンがついてきます。下記「DK」の左上部分に配置します。左クリックで配置できます。多少ズレてもかまいません。



次にリストを「家具」にして、「テーブルセット」「テーブルソファ」を配置、「家具」の「椅子」から「3人掛けソファー2」を配置します。



完成です。

これに「文字」で自由に文字を書いたり、「画像」でデジカメなどで写した JPEG 画像を貼り付けたり、線や四角形など多彩な作図ツールで脚色することができます。

「間取りっどPRO2」はこのように間取りを簡単に描く他に、本格2次元CAD作図ツールで、詳細図、立面図や矩計図の作成、求積表からの敷地図、測定などの多彩な機能を搭載しております。

本体験版はファイル保存ができないのと、印刷や画像出力に回数制限（中央にロゴが入ります）がある他は、バックアップなどの保存以外は起動回数に日数制限がなく、じっくりと検討できます。

さらに詳しく機能や操作を体験されたい方はホームページの体験版ダウンロード

（<http://www.lilacsys.com/cad/download.htm>）より、「間取りっどPRO2基本操作編」「間取りっどPRO2図面作成詳細編」をご覧ください。